



おとうさん、おかあさん、このスマイルに何を感じますか…(神戸保育園にて)

広報 ひがし しらかわ

No.352
H2/6

発行 東白川村・編集企画課
岐阜県加茂郡東白川村神戸
〒509-13 ☎05747-8-3111
印刷 下呂印刷株式会社

人口の動き

—5月末住民登録人口から—

世帯数	910世帯
人口	3,495人
転入	7人
転出	7人
出生	4人
死亡	1人

先月と比較して3人増
昨年と同月と比較して
36人減

泥んこでもいい感性のある子に育て!

今、保育園がたのしい——まだお昼前だというのに、服はドロドロ、頭はベタベタ。泥んこ遊び水遊び……園児たちは、自分の意思で遊びを選び、中断されないでとことん遊び込んでいます。

今までだったら、保育室に入って折り紙などをして
いる時間。「ハイ遊びをやめて……」といった声がか
かるところですが、今年4月から新しい保育指針が取
り入れられ、これまで以上
に「子どもの自主性を育て
る保育」を心がけています。

子どもの立場を十分に尊
重し、遊び込ませて生活体
験をさせる。

それが、「感性」を育て
ることにつながるのです。

3園足並み揃えての保育
方針も今は研究段階ですが、
泥んこで帰って来た子ども
たちをしからないで笑顔で
迎えてください。



水槽に胸まで漬かって水遊び

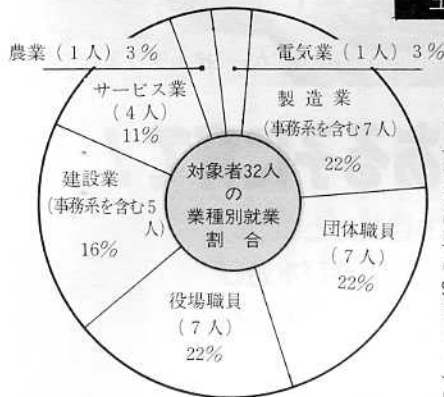
はじめて見た村の 本当の姿

新規就業者
研修会同行記

「この村にも、こんなすばらしい若者がいるんだ
ということを実感しました」「エ？誰が…」「もち
ろん私、筆者です。そして参加した若者自身もそう
思ったようです」「何に参加したの？」「フレッシュ
ユバック90ですヨ……」



下親田の村有林で、空気もうまい ジュースもうまい



今日が村が主催する新規就業者研修会なのだ、それを、若さをいっぱい詰めこんだ……という意味でフレッシュユバック、そして一九九〇年の90をくっつけて

「フレッシュユバック90に塗るやつか？」「あれは美顔パック。私みたいな若さにはまだ必要ないの！」

五月十六日朝九時ころから村民センター正面玄関の前へ、ちよつと大きめのバッグをさげた若者たちが次つぎとやってくる。何やら旅行にでもでかけるような雰囲気だ。

わけを知らない人が声を掛ける。「今日はなんやヨ？」「ウン、ちよつと、フレッシュユバック90に来たけど……」「フレッシュユバックってなんや、女の人が顔に塗るやつか？」「あれは美顔パック。私みたいな若さにはまだ必要ないの！」

思い切って二泊三日

それでも足りないくらいだった

たというらしい。

筆者は、今日から二日間この研修会に参加した若い人たちに同行して、密着取材を試みようとしているのだ。

何しろ、ちよつとユニークな

この研修会は可茂の記者クラブの皆さんに取材され、前日、当日、翌日の新聞各紙に報道される。速報性では日刊紙にはかなわない、そこで月刊広報にがししらかわとしてはキメの細い密着記事で対抗しようというわけだ。この研修の対象になった人は平成元年四月一日から平成二年



お茶の出し方ってコツがあるのね

四月までに、村内の企業、団体などの事業所に新しく就業した人と、農業や商店などの自営業に就いた若者たちとなっている。いわば二年分の新規就業者であるが、その数は三十二人。そのうち二十三人がこの研修会に参加してくれた。

金の卵も 磨けばもつと光る

今回の対象者を調べることによって始めて、村では一年間に十五人前後の新規就業者があるということが判った。

過疎だ、若い人が少ないというなかで、この人たちはまさに金の卵以上に貴重な存在なのだ。東白川村の将来は、やがてこの人たちに託されることはまちがいない。そうならば若いうちに少しでも村の実情を知ってもらいたい。幅の広い人間性を培



広い貯木場に並ぶ優良材を見学



「私にも出来るかしら…」と神棚の製作に興味を示す研修生

ってもらいたい。それかといってこの人たちを雇い入れた企業が独自で研修をすることも困難である。ならば、村の事業としてやってみよう……という趣旨で企画されたこの研修会、参加者の顔ぶれが揃ったところから予想外の効果が表れはじめた。

午前中の開会式、講義の会場に当てられた農業研修室は学校のように机が並べられている。

参加者たちは自分の知った人が座っているとそのそばへ行っ

笑顔の中に真剣さが覗く

て並んで席をとる。注意して見ていると意外に知っている人が少いようだが、二十三人の参加者の中でお互いに親しい者同志はせいぜい三人から五人程度らしい。

右隣の席は自分に親しい人でも、左隣りは知らなかった人。

今まで知らなかった人との間にコミュニケーションが生れはじめる。

そんな雰囲気の中で、「予算からみた村の姿」と題する講義が始まった。

「うーん。こんな固苦しい話、若いもんには受けるんかいな？」

しかし話はいきなりゴルフ場を造りたいという業者の申出を断ったことから始まった。ゴルフ場を造れば村へ税金が七千万円も入ってくる。今の村

税の額が全部で一億七千万円だからもしゴルフ場の税金が入るようになれば村税収入が四十四割も

増えることになる。自然保護と開発をどう調和すれば良いか、という課題を、村の予算と関

連づけながらいきなりぶ

事業主も全面協力

有給で研修に派遣

そろそろ眠くなりそうなころを見はからってお茶の時間、「やれやれひと休みだ」と思う筆者は甘かった。

お茶をいただくためには、まず白川茶の起源から、どうすればおいしいお茶がえられるかという話まで聞き、実技で実際にお茶を入れて、やつと飲ませてもらうという仕組みになっていたのだ。

それにしても少し苦いお茶だったが、自分でいれたんだから文句はいえない。

何しろこの研修会は、対象者を持つ村内（一部に村外も含む）の企業や団体の全面的な協力によって、参加者は全員「有給」で出席しているわけだから、遊び半分は許されない。

また出席者の顔を見ているとそんな心配は吹きとんでしまう。

昼めしを食べていよいよ村内視察に出発だ。

西洞から中谷、加舎尾と經由する「基幹農道」を通る。「エーッ、こんな立派な道あったの」「中谷なんて始めて来た」新鮮な感想を乗せながらマイクロバスは走る。

この道もあの田んぼも、県営畑地帯総合土地改良事業という制度で出来たものだ、さっきの講義で聞いて来た。

ここまで来て、午前中の講義と午後の村内視察がひとつになって、ほんとうに腹に入ったという気がしてくる。

行く先ぎきに説明者が待ち受けているが、農協のライスセンターの説明を聞いたところで、田んぼの区画整理をして機械を



史跡をたずねて（境谷処刑場にて）



プレカット工場で近代的な木材加工を見学

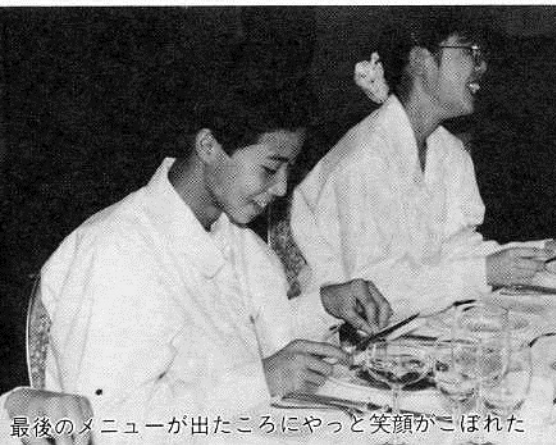
使えるようになり、ライスセンターで米に仕上げるまでの機械化でずいぶん農業の手間が省けたんだなと理解できる。

参加者の一人、日向の松岡勇造君は土建会社でその「ほ場整備」の仕事をしている。

猫の手も借りたいほど忙しい盛りにもかかわらず、会社の理解で出席できたのだが、自分のしている仕事が村の発展にどこでどのようにつながっているかを自分の目で確かめられたに違いない。

境谷処刑場の前に佇んだ現代の若者二十三人、今を去ること二百六十三年前の享保十二年八月、この地で二人の農民が斬首された歴史をどのように感じ取ったのであろうか。

「百聞は一見にしかず」は やっぱりほんとだった！



最後のメニューが出たころにやっと笑顔がこぼれた

席について約1時間、やっとナイフを入れた

役場に勤めている藤掛美智さんはプレカット工場へ入って驚いた。

役場という仕事からプレカット工場のあることは知っていたでも聞くと見るでは大違い、コンピュータの指示で機械が勝手に木材を加工し、土台や柱を造っていく。

ひよっとすると人間までコンピュータで動かされているのでは？。そんな事は無いが、森林組合で働いている今井繁人君や安江道彦君の立場からみれば、「俺が毎日扱っている丸太ん棒が、ここまでくるとかなりの値打ちもんに変わるんだな」ということになるだろうか。

めざすはシティホテル

「この木何んの木？」「気になる木」……と言ったかどうか知らないが、桧と杉の見分けもつかないと怒らないで下さい。実は筆者もそうなんだから。ついぞ今まで、桧のぬうちなど考えもしなかった若者たちも木材市場、プレカット、桧造りの神棚工場、高岩林道を通じて村有林の桧の太木を見るころには、なるほど「桧」は村を代表

安江 美和（19歳・熊崎歯科勤・神付）上・下の関係がなく交流できた点がいい。テーブルマナーで気を使ってやせたかな…。自分たちで村を何んとかしなくっちゃ。

田口 佳澄（19歳・西野建設・西洞）会社の許しがあって来れたから気が楽でよかった。何んでも若い子が先頭に立ってやる行動力が必要。

藤井 一矢（20歳・岐阜部品・加舎尾）若い人が集結するためにはキッカケが必要。

ゴルフ場建設を拒否した話は知らなかったが、若者が集って議論する場になったんじゃないかと思う。

安江 康二（15歳・伸光電器勤・曲坂）見学したところは学校で学んだところが多くあったが、特に感じたことは道が悪いこと。ドライブイン的なものがほしい。

—第2グループ—

今井 （25歳・プレカット勤・白川町切井）若者が気軽に集って朝まで語り会え

る自由な場所が必要。

高木 由香（25歳・岐阜部品勤・黒淵）東白川へ帰ってきてよかった。青年団に入っていないのでこの出会いを大切にしたい。上水道も大切だけど自然の水を飲めるこの環境を誇りにしたい。

松岡 丈浩（18歳・農協勤・栃山）深く村のことを見たり聞いたりできて良かった。

藤掛 美智（19歳・役場勤・日向）仕事柄、知識はあったものの、実際に見るのは初めてのことばかりで良かった。

安江美和子（20歳・農協勤・上親田）今は仕事を覚えるだけで精一杯。みんなが集まる場所が必要だと思う。

大坪 里香（19歳・商工会勤・平）村内に就職して2か月がたち、だんだんいいところに思えてきた。ふるさとを大切にしたい。

河田 孝（25歳・役場勤・西洞）Uターンして3ヶ月、生まれ育ったところの良さがわかってきた。ふるさとがイキイキしている。



ロビーを使ってグループ研修

『私こう思った！』

—第1グループ—

鈴村のぞみ（22歳・役場勤・平）若者といえば役場が農協、若い人はどこにいるのかな？って感じがします。若者が気軽に顔を合せる場が必要だと思う。

安江貴美子（20歳・森林組合勤・陰地）東白川で育ったのに知らないことばかりでした。お祭りは中年層が主体。若者がもっと主体性を持たなければ…と感じています。

今井 繁人（25歳・森林組合市場勤・陰地）若者はもっと遊び心が必要だと思う。それを作り出し発散する場が集いやイベントだと感じている。

大坪 靖（20歳・役場勤・平）それぞれの世代ごとに合った良さを持っており、その生かし方を工夫すれば、調和のとれた活動が出来ると思う。



来年もこのダンバーで集まるうよ……

『聞いて私の気持！』

—第2 グループ続き—

牧野 勇三（21歳・山田土建勤・日向）道つくりやは場整備の仕事に携わるようになって、村のことに関心をもちはじめた。

—第3 グループ—

熊沢はるみ（25歳・農協勤・大明神）村内視察がよかった。村に帰って1年たったが今日見たところは初めての場所ばかりで村を知る必要性を感じた。

今井 誠（20歳・下呂印刷勤・神付）昭幸園の組合長の話を聞いて、村の中でも工夫すれば意欲をもって暮らせることがわかった。

村雲 峰子（19歳・役場勤・神付）村の中にも頑張っている仲間がたくさんいることを知り心強くなった。

安江 道彦（32歳・森林組合市場勤・下親田）生まれが福岡町のため、今回の村を学ぶ研修に参加できて大変勉強になった。若者の世代交流の場として大変いい企画だと思う。

田口 浩由（23歳・役場勤・大明神）村外にいと村の様子がなかなか伝わってこず帰るタイミングを失っている人が多いと思う。雇用情報、住宅情報などを含めてPRする必要があるのでは。

安江つゆ子（18歳・役場勤・大明神）もっと村のすばらしさを村外の人に知らせてほしい。特に高校生は、村に対して暗いイメージを持っているから。

今井 巴夏（25歳・農協勤・大口）村へ帰ってきて働こうにも、どこが求人しているのかわからない。村の就職情報を作ってPRしたらどうか。

する「資源」だと実感できたようだった。
昭幸園のカバーション、白川茶発祥の地、大沢の蟠龍寺跡と下って、マイクロバスはシティホテル美濃加茂へと到着した。
村長も若者もテーブルマナーは経験の差なし
筆者は喜んだ。勇躍してホテルの自動ドアを通った。
何しろフランス料理が待っているのだ。始めての体験だから多少の興奮は止むを得ない。
しかし、甘かった。「フランス料理が甘かったの？」「違う心掛けが甘かったの！」「講師が一人付き切りで、テーブルマナーの研修を兼ねたデ

ナー（夕食）だったのだ。最初は全員硬直の極み、ナイフとフォークの音のみがやけに気になる、しかしワインのほろ酔いが廻るころには筋肉が軟かくなって来た。
笑い声と会話が弾み、二時間をかけた食事が終わったら研修と食事の両方の満腹感を味わうことができたのだ。
ところがこれで終わったのではない。
この研修会が、予想を大きく上回る成果をあげられたのは、実はこのあとの話し合いにあったのだ。
三つのグループに分れ、若い人たちの口から、とつとつと語られたその内容は、「村を知らない、知る機会が少ない、そのた

めに東白川村に暗いイメージを抱いてしまう」「村へ帰って村で仕事をしたいと思っても、就職先、住宅のことなど何も分からない」「今日村の中を見せてもらって知らない事ばかりだった」そして異口同音に今回の研修は良かったという感想を聞いて、筆者は、「ウーン」と考え込んでしまった。
若者たちの話し合いは部屋へ帰ってからでも尽きることを知らない、「寝たのはけさの三時やったヨ」という声を聞いて、又「ウーン」と考えてしまう。仲間が欲しかったのだ、この研修会は仲間づくりのキッカケを作

仲間意識が生れたのが良かった

つたのだ……と。



シティホテルでの講義、最後まで静聴（2日目）

フレッシュパック'90全日程

五月十六日
9:30 講義（村民センター）

題「村子算から見た東白川村の姿」
題「おいしいお茶のだし方」
題「寺のない村の生いたち」

13:00 村内視察
村民センター→ほ場整備

↓ライスセンター→境谷処刑場→木材市場→プレカット工場→神土製茶工場→神棚（親田木工所）→村有林（母樹木）→昭幸園→蟠龍寺跡

17:50 シティホテル美濃加茂着
●テーブルマナー研修（指導者—シティホテル美濃加茂）

●グループ研修
五月十七日

9:00 講義（シティホテル）
題「地域社会の中での青年の役割」
題「接遇と日頃の心得」

12:00 閉校式

シティホテル→花木センター→可茂卸売市場→花トピア→東白川村着17時30分



林業グループクラブハウスが軍団の本拠地

何か違う予感！ 夏の夜の主役 五介軍団 ごすけ

人間という字を、人間資源を縮めて人源と表現したり、新風を心風、震風、進風などと表現した地域おこしの言葉遊びが、若者の間で静かなブームを呼んでいます。

今までの「ふつう」の呼び方ではなく実行委員（大目付）・企画運営委員（五介軍団さんばう本部）・事務局（隠密）・広報（かわら版屋）と、徹底して五介にこだわった言葉遊びが、「90ふるさと夏まつり・ザ五介」の運営組織名称に用いられました。

ここまでこだわれば、催しの名称も一変しよう、と、鮎釣り大会（五介のあいかけ鮎くらべ）・五介パレード（五介道中）・ふるさと朝市（五介の楽市楽座）・会場イベント（五介の芝居小屋）・バザー（五介茶屋）そして会場装飾を（五介の砦）といったふうに改め、ネーミングに負けない企画をと夜遅くまで熱の入った打合せが行われています。

そんな遊び心満点の今年の夏まつりを通じて若者が呼びかけようとしているテーマが「東白

五月十七日午前零時から神田神社で「遷座祭」が執り行われました。

これは今回神田神社が本殿を造り替えることになり、祀神を仮殿に移すことが必要となったため、宮司でさえ一代に一度あるかないかというまれなことであります。

仮殿に移すときを仮遷座祭、工事完了後に本殿へ移す場合は遷座祭と呼んでおり、明治神宮では二十年に一回行われるそうです。

今回の工事は本殿と幣殿の新築ですが、神田神社では大正時代の本殿の位置替え工事の際と昭和二十三年の屋根の葺き替えに次ぐ三度目のことでした。

闇の中で厳かに遷座祭

川クリーンキャンペーン村をきれいにしよう！という運動です。そのPRに、漫画「天才バカボン」に登場する「ほうきはきのおじさん」をキャンペーンマスコットに見立てて登場させるなど、随所にユニークなアイデアと工夫が盛り込まれています。その五介軍団を率いるさんばう本部の「おかしら」を務めるは、日向の安江敏治さん(31)。

持ちまえの明るさと人柄の良さで、若者の心をとらえながら「参加した本人自身がやって楽

祭事は午前零時、闇の中で始まりました。黄灯をともして本殿に入り、ご神体を絹垣で覆って興に乗せます。そして約四十分離れた仮殿まで、息を凝らし「オオー」という警蹕の後をゆっくりと進み、無事に納めるまで一時間を要したということです。

「緊張のあまり汗をかいた」という参列者の言葉に、いかに大きな祭事であったかが、伺われます。

今回の工事によって本殿の位置は今よりも二倍高くなり、拝殿も広くなります。工事が順調に進めば、この秋の例大祭には新しくなった姿をご覧いただける予定です。

「楽しいイベント」となるよう、小さな意見にも耳を傾けて検討を重ねた結果が今回の企画を実らせたといえるでしょう。

スタッフも青年団体連絡協議会の組織にこだわらず、参加したい人、仕掛けてみたい人をどんどんと誘い入れる方向で呼びかけをしています。

参加を希望される方は、陰地の桂川一喜さんまで一報を！（有線三四六七）



銀色のフェンスがまぶしいピカピカの公園

敷地にテニスコート一面とゲートボール場二面が設置され、地域住民の憩いの場として利用されることである。

碑文を記し 農村公園の 竣工を祝う

五月晴れとなった五月二十七日、大明神集落では「越原上工区土地改良碑の除幕式」と「大明神農村公園の竣工式」が地元関係者ら約六十人が集って盛大に行われました。

農村公園の西側に建立された高さ約三メートルの土地改良碑には、千三百余枚の田畑が五年間の事業によって百七十八枚のは場に生まれ変わった記念の碑文と、土地改良誌が記してあります。また、農村総合整備モデル事業によって旧越原小学校分校跡地に整備された農村公園は、約千平方メートルの敷地にテニスコート一面とゲートボール場二面が設置され、地域住民の憩いの場として利用されることである。

山が泣いてゐる...

自然保護員村内を巡回

ゴミを捨てない人には心の痛み話……ゴミを捨てる人には耳の痛い話……

五月二十四日、ゴミの不法投棄を中心に東白川村自然保護委員の村内巡回が行われました。

その結果、下野林道で二か所、久須見大野林道で一か所、栃山林道で一か所と、いずれもかなりの量の家庭廃棄物の不法投棄

が確認されました。

中には、自分の山だからと業務上の産業廃棄物を捨てた場所もありましたが、まるで「ゴミを捨てて下さい」と誘発しているようなもので、結局は家庭廃棄物の山と化していました。

心ない人が捨てたゴミを、手を真黒にして拾ってくださる人もいれば、テレビ、冷蔵庫とい

今年の異常気象を、あなたはどうかとらえておられますか？

「何んか妙な天気だねー」

「今年はどうも変な予感がするねー」

日常会話の中に、そんな言葉がまじる今年の天候ですが、万

一の場合の備えは十分ですか。

地震の恐ろ

梅雨接近 災害への備えは 十分ですか？

しさもしかる事ながら、長雨や集中豪雨による土石流、がけ崩れなどの土砂災害が心配される時期です。

そうした土砂災害から身を守るためには、ふだんから気象情報に注意する習慣が必要です。そして、地域内の危険箇所につ

いて知っておくことや、万一の場合にどこへ避難したらよいかを家族で話し合うことも必要で

しょう。こうしたことは、わかっていてもなかなか実行できないものです。六月一日から三十日まで

つた家庭廃棄物を平然と捨てていく人があるのです。またこうした投棄は、特定のごく一部の人が投棄することが投棄の状態から伺えま



下野林道での不法投棄現場

以来車にゴミ箱を取り付けどんな小さなゴミも捨てなくなつた」

そんな経験をお持ちの方も多いことではないでしょうか。そうした例からも、地域ぐるみの清掃活動は大切な意味をもっているようです。

また、平の今井真子さんは、「待避所に設置したゴミカゴの清掃を続

けていますが、広報で呼びかけたところから紙おむつや生ものを捨てる人がほとんどなくなつた」と、広報や地域ぐるみで根気と呼びかけ、意識を高めることの大切さを体験から話してくださいました。

「だれかが捨てたゴミ」のために、先人が残してくれた自然が、山が泣いています。

私たち一人ひとりが何をすべきか……何ができるのか……心に問いかけてみるべきではないでしょうか。

そのほか、農薬の取り扱い、山の肥料と水源、河川工事と自然保護などについて意見が出され、考えていくことになりました。

バスケット男子 堂々と優勝

加茂郡体育大会

スポーツシーズンの到来を告げる第三十四回加茂郡体育大会が、白川町と東白川村を会場に開かれ、村から百三十五人の選手が十二種目に参加しました。

今大会、唯一の優勝を果したバスケットボール一般男子は、決勝まで他を寄せ付けな

い試合展開で圧勝し、トップの座へ一年振りに返り咲きました。

そのほかの入賞は次のとおり【団体の部】三位一男子バスケットボール・軟式野球

【個人の部】優勝一剣道二十五歳以上三十五歳未満の部

安江 誠 (上親田) 三位一剣道一般女子の部 安江つゆ子(大明神)



ゼッケン11番
今井克之さんのシュートがさえる

記念誌

東中PTA四十年の足跡を この一冊に



東白川中学校PTAでは、発足四十年の歩みを記録した記念誌五百冊をこのほど発刊し、教育関係者やPTA会員らに無料で配布し好評を呼んでいます。四十七ページの小冊子にまとめられたこの記念誌には、発足した昭和二十四年から年度ごとの役員の名前と当時の活動を掲載。また、出来事を克明に拾った年表も添えられ、懐かしい恩師や当時の役員のエピソードの中に四十年間を振り返っています。

マナー

待望の友釣り解禁を控え 愛好者が河川美化

今年のアユ釣り解禁日は六月三十日と決定、今まで解禁は日曜日と決っていただけに、はじめての土曜日解禁は週休二日時代を反映したものでしょうか？

その日を控えた五月二十日、村内の友釣りグループ白川鮎香（代表嶋倉玄治さん）・追星（代



表大坪久さん）・鮎友会（代表古田勝彦さん）の十二人のメンバーが、柏本不動滝から下流二百メートルの友釣り専用区にヤナギ切りをしました。

「訪れた人が楽しめるゲスト河川としてはずいぶんいい場所に……」との気持ちでの奉仕作業でしたが、空カンとゴミの量にびっくり。テグスや釣り針も今年は持ち帰る人が一人でも多くなることを願っています。

仕奉 初夏の風味に真心はさんで プレゼント



感謝の気持ちが笑顔に伝わる

「こんなに喜んでもらえるのなら、もっとやってあげたい」

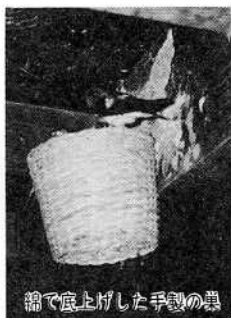
食生活改善推進協議会員らボランティアのみなさん十九人が

五月二十四日、東白川村社会福祉協議会の行う「給食サービス」に参加しての感想です。

当日は、役員が下ごしらえしたシイタケ、サケ、フキノトウを持ち寄り午前中をかけて作り上げた給食（朴葉ずし、ササゲのゴマあえ、スイカ）四十食分を午後三時から三人一組、十班に別れて一軒一軒ふれあいの時間を持ちながら、村内の一人暮らしのお年寄り四十人に夕食として届けられました。

ツバメ

手抜き工事 転落！ ひなもろとも



綿で底上げした手製の巣

「手抜き工事」は人間社会に限ったことではありません。

この春、下親田の安江勇造さん宅に新居を構えたツバメくん。勤勉派というより合理主義が

モットーらしく、巣作りは昨年の古巣に二重ほど積み上げて完成。三羽のひなに恵まれ幸せな日々を過ごしていました。

ところが、積み足した接合部分に大きな欠陥があったのです。身を乗り出してエサをねだるひなの重みに耐えられず、ついに巣が壊れてひなもろとも転落。

幸にも九死に一生を得たひなたちは、安江さん手製の巣に入ってホット息をついています。



誕生おめでとう
ございます

戸籍の窓

五月 敬称略

（ん）

（ば）

（じ）

（い）

（け）

（柏本）桂川 義春 雄太（長男）

（久須見）古田 正広 大樹（長男）

（日向）安江 透守 摩子（長女）

（平）菊田 和博 将来（長男）

（弓美）

（安江）睦美（栃山）

（西田）雅之（広島市）

（藤井）重徳（白川町）

（古田）そのみ（平）

（藤井）七三男（白川町）

（大坪）穂奈美（陰地）



いつまでも
おしあわせに

ギネス

竹の子のようにニヨキニヨキ 伸びたアマリリス

平の菊田とめのさんの肩あたりまで伸びた超特大のアマリリス。

何んと花茎が約一メートル、花の直径が二十三センチと普通の約三倍という代物です。



ギネス記録保持者 菊田とめさん

握りこぶし大の球根を植え付けて三年目のこと。これまで一度も花をつけることなく花茎が二十センチほど伸びただけでした。それがどうしたことが、今年になってニヨキニヨキと伸び始め、情熱的な濃赤色の花が四輪

咲いたのです。
「孫の出生祝いに咲いてくれたのだらうか」と、菊田さん夫婦にとって思いがけないプレゼントになりました。

結婚

縁えの道祖神を祀り縁結び に期待の声

村に結婚相談所が開設されて二年目。今だにおめでた話を聞くことができません。
縁談の数は何十件もあるのにいま一步といったところでま



縁えの道祖神を祀る石碑

まらないのが悩みの種。「ここは一つ神様の力を」と、相談員である平の安江武子さんから御嶽教の信者のみなさんがこのほど霊峰御岳山から縁結びの神「縁えの道祖神」をお迎えし祀りました。

夫婦和合、子孫繁栄、行路の守護神として知られており、今回の建立を機に、地域の協力と相まって縁結びのご利益に期待したいものです。

棚づくり

お年寄りの智恵と技を 生かして環境整備

フェンス、柵と言ったら鉄骨かアルミが主流の現代、ヒノキの間伐材と竹を材料にした温かみのある柵が西洞センターに取り付けられました。



景観にピッタリの柵

この柵づくりは、地域清掃活動の一環として、老人クラブ清楽会（田口新市長他二十六人）のみなさんが手がけられたもので、お年寄りの智恵と技がふんだんに生かされています。

今回は、ゲートボール場を含めた施設全体に取り付ける計画の内、西洞谷に沿った法面側に高さ一・二メートルの柵を約四十メートルにわたって設置。
法面が高く危険な場所だっただけに、子供たちも伸び伸びと遊べるようになりました。

ロマン

ツタンカーメンのエンドウ ってどんな味

神秘的な赤紫のエンドウのサヤを口にする、不思議な甘味の中に古代エジプトのロマンが：昨年五月、ツタンカーメン王のピラミッドの中から発見されたエンドウが発芽したと話題になりましたが、そのときの「種をお分けします」の紹介記事で平の村瀬スミエさんは、六粒の種を手に入ることができました。「失敗したらいけないから」と平の澤木紀代子さんと三



種を希望の方も分けてします

粒づつ分けあい栽培したところ、確率よく二人とも二粒が発芽し、この五月に淡い赤紫色の花（中央部は濃いあかね色）を咲か



おくやみ
申しあげます

今井 あす江 85歳（大口）
■善意の寄付 敬称略

【社会教育指定寄付金】
現金十萬円―田口稔（平）

【社会福祉協議会へ】
現金五萬円―今井和男（大口）

【東白川小学校へ】
ぞうきん八十枚―婦人会神土支部・サラマンカVHSテープ一本―村雲康彦（大口）

【ば】
竹ぼうき三十本―老人クラブ寿会・イチョウの木二本―安江多重（黒瀬）・ウメの木十本―今井正三郎（西洞）

【い】
竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会

【け】
竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会

【越原保育園へ】
竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会

【神土保育園へ】
竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会

【越原保育園へ】
竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会

【越原保育園へ】
竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会

【越原保育園へ】
竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会

【越原保育園へ】
竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会

【越原保育園へ】
竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会

【越原保育園へ】
竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会

【越原保育園へ】
竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会

【越原保育園へ】
竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会

【越原保育園へ】
竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会

【越原保育園へ】
竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会

【越原保育園へ】
竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会

【越原保育園へ】
竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会

【越原保育園へ】
竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会

【越原保育園へ】
竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会

【越原保育園へ】
竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会

【越原保育園へ】
竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会

【越原保育園へ】
竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会

【越原保育園へ】
竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会

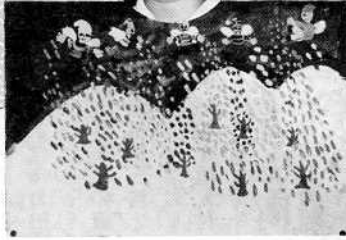
【越原保育園へ】
竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会

【越原保育園へ】
竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会

【越原保育園へ】
竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会



▲オシャレなかいじゅう
〈ツボザウルス〉
東白川小学校 2年
中江章人くん (平)



◀春を運ぶ神様
東白川小学校 4年
今井政志くん (大沢)



わたしの作品

お知らせ



幼児期 家庭教育学級

7月9日

幼児期家庭教育学級の第二回を次のように行います。

〔日時〕平成元年七月九日(月)
午前九時三十分から

〔会場〕村民センター
農業研修室
〔内容〕「思いやりの心を育てよう」をテーマに、映画を利用して学習します。

子供会 インリーダー研修

7月15日

子供会のインリーダーを対象にした、第三回の研修会が開かれます。

各単位子供会のリーダーは参加してください。
〔日時〕平成二年七月十五日(日)
午前九時から
〔会場〕村民センター大集会室
〔内容〕ソフトボール大会につ

第二回 中央婦人学級

7月13日

第二回の中央婦人学級を次のとおり開催します。

〔日時〕平成二年七月十三日
〔場所〕東白川中学校体育館
〔内容〕軽スポーツ
※運動のできる服装で!

訂正を お願いします

有線電話番号帳

先月お配りしました有線電話番号簿(新版)の記載事項に一部誤りがあり、大変ご迷惑をおかけしておりますこと心からお詫びいたします。
訂正につきましては、該当するページとその欄全部の内容を印刷したシールをお届けしますので、お手数ですがシ

ふふさのこぼれ 17



☆いわる

「このいわしもんはしめつとるでなかなかもえんかもしれん。いわりくさいけどいわしばでいいわい」と平假名ばかりでこのように書くが大変読みづらいのですが、「この焼却物は湿っているから、なかなか燃えないかも分からない。煙り臭いが焼却場で煙らせておけ」という意味です。

「いわる」は、火が燃え立たないで煙っていることをいいます。生の草を燃したり、もみ殻を焼いたりするときの、煙は立つが炎が立たない状態のことです。「うやる」ともいいます。

この言葉は、このあたりから飛騨にかけて使われますが、他の都道府県では使われない言葉のようです。
「いわる」に関連する言葉はいろいろあります。

「うやしば」は草やごみなどを焼却する所ですが、煙の隅に石や煉瓦を「ゴ」の字形に積み上げたもの、山の裾や土手などの一部に横に掘り込んで造ったものなどがあります。いずれも気長に時間を掛けて草やごみなど燃しますので、少しぐらい風が吹いても火が飛び散らないような施設が必要なわけです。

「いわりくさい」は「おびやりくさい」ともいいます。衣類などが燃えるような、きつい臭い、特有の煙の匂いがすることの表現です。

「いわりくさい」「おびやりくさい」ものに「かび」があります。「かび」は「蚊火」と書き、今はあまり見かけなくなりましたが、山野や畑で働くとき、蛸などを追い払うため、ぼろ布を丸めて火をつけ、腰にぶら下げて煙を出すのです。「和名抄」にその名が見られますから、かなり昔から「おびやりくさい」煙が立ち上ばっていたもののようです。「蚊火」は「蚊遣火」ともいうことはご存じの通りです。「かべ」ともいいます。



▲貼り絵 (はくのかお)
神土保育園
たぐちゆうすけくん 5歳 (平)



▲わたしのおとうさんと
おかあさん
神土保育園
むらくもひろみちゃん
6歳 (加舎尾)



▼貼り絵 (わたしのかお)
神土保育園
やすえみゆきちゃん
5歳 (中谷)



みゆき

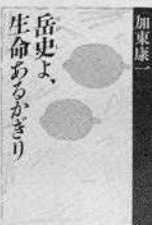
今月の図書



ホタル先生の
トラック一杯の涙
綾野まさる著
ベストセラー童話「とべない
ホタル」を生んだ小沢昭巳の若
き日の感動ドキュメント。富山
県の小さな田舎町に住む一教師
の奮闘記には、現代のわたした
ちに失われている何かを教えてください。

岳史よ、生命のあるかぎり

加東 康一著
舌ガンを声と味覚を失った父
親が息子に綴る凄絶な闘病記。
死と対決しどのように闘い、何
を思い、どう苦しみ、そして何
をつかみとったか、声をなくし
た著者が「頑張っ」てと健気に励ましてくれる息
子にありのままの手記を残して……是非、読んで
ください。



友釣りの
こぼれ話、写真など
希望の友釣り解禁日が近づい
てきました。
次号七月広報では、友釣りに
焦点を当てながら時代とともに
変化してきた清流白川を特集し
たいと思います。
友釣り等川漁のこぼれ話や、
それらの古い写真がありましたら
らご連絡ください。お話を伺い
に上がらせていただきます。
(役場企画課振興係有線二一五)

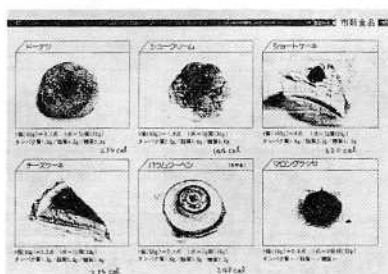
お寄せください
以降、訂正があった場合は、
広報等でお知らせします。
お申し込みは、
とくに貼ってくださるよう
お願いいたします。

進めています＝ふるさとづくり

◆工事入札結果 (工事名・工事箇所・事業量・事業費・施工業者・
完成日・事業主体の順になっています)

【五加・神土】村道舗装修繕工事・19路線・延長6,350m・2,214.5
千円・丸登建設(株)・6/25・村

【越原・神土】村道舗装修繕工事・21路線・延長6,730m・2,327.8
千円・(有)立保土木・村



食品のカロリーをそらで言えるほどに読
み込んだ資料

「このカロリー表のお陰で身
心共に健康になれた。今日の自
分に大満足」
笑顔をほころばせ、淡々と話
してくださったのは、上親田の
大坪勇司さん(41)です。
平成元年度の第一回厄年検診
を受診した大坪さんは、その検
査結果に衝撃を受けました。
それは、入院を告げられたわ
けでなく「尿から出る糖の数値

何んの変哲もないワ
ー
プロ打ちのカロリー表(写
真)。これが今回の一品
です。



3枚のカロリー表

が少し高いから気をつけてく
ださい」という注意の内容で
した。

しかし、自分の体に自信の
あった大坪さんにとってそれ
は一大事。二、三か月悩んだ
末、今のうちに治しておこう
と鈴村保健婦に相談をかけ、
もらった資料が三枚つづりの
カロリー表と食品交換表、そ
して糖尿病のパンフレットだ
ったのです。

治療の一番の決め手は、食事
療法だったのですが、「ニコチ
ンの少ないタバコにフィルター
を付けて吸うぐらいだったら、
いっそのことやめたら……」
そんな保健婦のアドバイスに応
え、約一週間で禁煙に成功。

資料を一週間ほどかけて何度
も読み返した末、大坪流食事療
法が始まりました。

間食を一切やめ、三度の食事
の量も半分に減らして、カロリ
ーと栄養のバランスを考えた食
事に切り替えたのです。

約一年後、六十五歳あった体
重が六十歳に減り、先日行われ
た血液検査の結果も良好と出る
など、「何かを捨てて何かを得
る。目標達成は、自分の精神と
の戦いでした」そんな大坪さん
の言葉に、やり遂げた人にしか
語れない重みを感じました。
さあ、次はだれの番ですか！

満1歳

わが家のスター



▲(好弘さん・相代さん
長男・中通)



▲(光一・里美さん
長女＝大明神)



▲(利文さん・明美さん
二男＝下野)



安江重季美ちゃん



▲(一郎さん・恒子さん
二女＝上親田)

俳句

広報文芸

河田 重喜選

裏木曾の空の深さや鯉職
うれしさや夕草もち供へけり
田の畦に映へる夕日の芝桜
我が脈の乱れし今朝や燕来る
鼻唄や首までつかる菖蒲の湯
短か夜や病む母の手ひたに攪る
病む身には鋭く聞ゆ雛子の声
つちのこの祭りにわらび売られおり
百合香り亡夫の命日報せらる
夏祭り老もしなやか踊りけり
ゲートボールへ昼の篝火山つ、じ

あなたの作品をお待ちしています。投稿は、奇数月の二〇日までに西洞河田重喜あてにお寄せください。

狂俳

清流軒久永選

はらはら しづ心なくさくら散る
うつくしい 沈む夕日の浜に立つ
はらはら 見合の男落付かぬ
うつくしい 嫁が姑の杖となる
うつくしい 恵比と梅十道よぎる
うつくしい 福祉へ匿名の寄附が来る
はらはら よちよち歩きの尻を追う
うつくしい 清流眼下に藤が咲く
はらはら 子の初舞台落ちつけぬ
うつくしい 花野に赤い陽が沈む

次回のお題は「大きいなあ」「旅」。日本一短い作句狂俳にあなたも挑戦してみませんか。投稿は、奇数月の二十日までに陰地、安江永吉宛にお寄せください。

立村百年記念植樹

梅の話

うる覚えで書いた先月号の梅の歌を正しく教えて下さった方があった。東風吹かばにはひおこせよ梅の花主なしとて春な忘れそ。今ふうにいえば左遷になった政府高官が住み慣れた官舎の庭の、梅の古木に別れを告げる歌である。▼梅は古来から「食の毒、血の毒、水の毒」の三毒を断つといわれているがそれはクエン酸をはじめとするいくつかの有機酸の働

きである。梅はすっぱいので酸性食品と思われ易いが、実はアルカリ性でそのすっぱさのもとが有機酸である。しかも胃や腸の中では酸性反応で強い殺菌力を発揮する。食の毒を断つのはこの段階であるが、腸から血液の中に入るまでにはアルカリ性に変わって、とかく酸性に偏りがちな血液のアルカリ性を高め、循環を良くし、さまざまな成人病に有効に作用する。まさに血の毒を断つのである。▼夏の暑い盛り梅肉エキスを砂糖水で薄めて飲むと、ゲンナリした気分が爽快になり食欲がわいてくる。水の毒を断ち精神に活を入れてくれるこのエキ스는、青梅を水洗いして水けをきり、陶製のおろし器ですく、木づちでたたいて種をとりミキサーを使っても良い。すった青梅を木綿の布でしばって汁をとる。この汁を主なべかほうろうなべで、ゆっくり弱火で煮詰める。はじめに出る黄色い泡は除き、糸を引くようになつたら出来上り。しばらくは砂糖か蜂蜜を加えて煮れば梅ジャムができる。▼さて今年植えた苗にたくさん枝が出てきたところでしよう。将来の樹型を考えて不要な枝をつけねから剪り取って整えて下さい。